



平成 29 年 4 月 28 日
株式会社 第四銀行
株式会社 北越銀行
株式会社 大光銀行
株式会社 日本政策投資銀行

**(公財)新潟県環境保全事業団の行う、
大規模産業廃棄物処理施設の整備を金融面から支援
- オール新潟地銀 + DBJによるシンジケート・ローンを組成 -**

株式会社 第四銀行（頭取：並木富士雄、以下「第四銀行」という。）、株式会社 北越銀行（頭取：荒城哲、以下「北越銀行」という。）、株式会社 大光銀行（頭取：古出哲彦、以下「大光銀行」という。）および株式会社 日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、公益財団法人新潟県環境保全事業団（所在地：新潟県新潟市、理事長：坂本洋司、以下「当財団」という。）が実施するエコパークいずもぎき第 3 期最終処分場整備事業（以下「本事業」という。）に対し、シンジケート・ローンを組成しました。

当財団は、新潟県（以下「県」という。）における産業廃棄物の適正処理を促進するため、産業廃棄物処理施設「エコパークいずもぎき」の整備・運営主体として平成 4 年に設立された県主導の第 3 セクターです。当財団は、県内の産業廃棄物の最終処分の約 6 割を担っており、法定基準を大きく上回る厳格な管理を行っているほか、地球温暖化防止等の環境啓発事業にも取り組んでいます。当財団が平成 11 年に供用を開始した第 1 期施設は既に埋立が完了し、第 2 期施設も平成 30 年中に埋立完了が見込まれており、県内の産業廃棄物の最終処分場の残余容量も逼迫している状況にあります。

かかる中、本事業は、「安全で災害に強い施設づくり」、「地域に貢献できる施設づくり」、「地域に信頼される施設づくり」を基本理念として、県内の産業活動および廃棄物の適正処理に支障が生じないように第 3 期施設を新たに整備するものです。

本件は、公益性の高い本事業に取り組む当財団を金融面から支援すべく、オール新潟地銀（第四銀行、北越銀行、大光銀行）と DBJ にてシンジケート・ローンを組成することとしたものです。

第四銀行、北越銀行、大光銀行および DBJ は、今後とも公益性の高い事業に対するファイナンスを通じて、地域社会活性化に資するお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

記

【事業概要】

- (1) 事業名称：エコパークいずもざき第3期処分場(管理型)の建設
- (2) 事業者：公益財団法人新潟県環境保全事業団
- (3) 事業地：新潟県三島郡出雲崎町大字稲川字池ノ尻
- (4) 総工費：約80億円
- (5) 埋立構造：準好気性埋立構造、埋立面積：5.27ha、埋立容量：93.74万m³、浸出水処理施設能力：520m³/日
- (6) 供用開始：平成30年9月(予定)

【エコパークいずもざき第3期最終処分場完成イメージ】



【シンジケート・ローンの概要】

- (1) アレンジャー：第四銀行およびDBJ
- (2) エージェント：DBJ
- (3) 貸出人：第四銀行、北越銀行、大光銀行、DBJ
- (4) 組成金額：31.5億円

以上

【お問い合わせ先】

第四銀行	コンサルティング推進部	電話番号	025-229-8163
北越銀行	県庁支店	電話番号	025-284-2521
大光銀行	新潟支店	電話番号	025-223-4121
日本政策投資銀行	新潟支店 業務課	電話番号	025-229-0711